

Meet *the* BOSS



代田 浩之

(だいだ・ひろゆき)

1954 (昭和29)年2月広島市生まれ。1979 (昭和54)年3月、順天堂大学医学部卒業。卒業後は東京・虎の門病院で6年間研修後、順天堂大学循環器内科に入局した。当初、冠動脈インターベンション中心に冠動脈疾患の急性期治療に取り組むも、次第に動脈硬化と心血管病の関係に注目、二次予防とリスク管理の臨床と研究に重きを置くようになった。スタチン登場とも相俟って、脂質低下による動脈硬化の進展予防と心血管イベント抑制の可能性を検討した臨床研究に着手し、特にESTABLISH, COSMOS, JAPAN-ACS, REAL-CADなど代表的な臨床研究・介入試験に参加・主導した。一連の研究結果は、LDLコレステロール低下の意義を世に知らしめるとともに、日本独自のエビデンスとして動脈硬化性疾患予防ガイドラインに反映され、動脈硬化領域の循環器内科医の立場を確立した。平成12 (2000)年7月、順天堂大学循環器内科教授就任。教授時代の後半の10年は、循環器内科診療分野拡大と充実に力を注いだ。それは若き日に留学したCleveland Clinic, Mayo Clinicをモデルにした循環器疾患の総合診療施設をという思いからの改革だった。平成26 (2014)年病院長、平成28 (2016)年医学部長と要職を歴任後、平成30 (2019)年、循環器内科教授退任。現在、保健医療学部学部長・特任教授として、理学療法士、診療放射線技師の育成とこの分野での新しい技術開発に引き続き情熱を傾けている。



聞き手

宮内 克己

順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学 教授
同 大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 副院長